

## 第2回盛人大学運営委員会（書面会議） 意見聴取結果

| 議事<br>委員 | 協議事項(1) 令和3年度受講料について |                                | 報告事項(1) 令和元年度卒業生アンケートについて  | 事務局回答  |
|----------|----------------------|--------------------------------|--|--|
|          | 本案に対する賛否ならびにご意見      |                                | アンケートに係るご意見等   |  |
| 1        | 賛成                   |                                | 社会貢献活動のレベルアップのために入学されたと考えられるので、今後も盛人大学は継続して運営してほしい。                                  |  |
| 2        | 賛成                   |                                | アンケートに社会貢献活動の定義も書き添えてあれば、より分かりやすいのではないか。   | 受講生には入学ガイダンスやホームルームなどで、本学設立の趣旨である社会貢献の意義や必要性について説明を行っており、今後も理解を求めていきたい。                  |
| 3        | 賛成                   |                                | 盛人大学の趣旨に照らして有意義な内容のアンケートだと感じる。コースごとにボランティアへの取組状況が異なることは理解したが、例年のアンケート結果と比較して変化はあるのか。 | コロナ禍により屋外での活動自粛を余儀なくされている卒業生が少なくないことが、アンケート回答からも明白になっており、統計結果にも影響を及ぼしているものと思われる。         |
| 4        | 賛成                   |                                | 卒業後の社会貢献活動に参加する人が減っているようだが、年々減少しているのか。折角学んだ知識を社会に役立てられるような支援も必要ではないか。                | 平成28年度から30年度にかけては、社会貢献活動を行っている卒業生の割合は53.5%→55.8%→57.5%と着実に増加を遂げており、長期的には悲観すべき結果ではないと考える。 |
| 5        | 賛成                   | コロナ対策として定員制限を設けるための特別措置案に賛成する。 | 健康生きがいづくりコースの卒業生のうち、社会貢献活動を「行う予定なし」とした回答者の割合が47%と高い。社会活動に結びつく講座内容となるような工夫が求められる。     | 各コースのカリキュラム編成に際して、卒業後の社会貢献活動に繋がる講座を設けるよう例年要請している。各コース実行委員にもアンケートの結果をフィードバックし、改善に繋げたい。    |
| 6        | 賛成                   |                                |  |  |
| 7        | 賛成                   |                                |  |  |
| 8        | 賛成                   |                                |  |  |